

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 11 月 1 日 (2007.11.1)

【公開番号】特開 2005-89463 (P2005-89463A)

【公開日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【年通号数】公開・登録公報 2005-014

【出願番号】特願 2004-268720 (P2004-268720)

【国際特許分類】

C 0 7 C 68/06 (2006.01)

C 0 7 C 68/08 (2006.01)

C 0 7 C 69/96 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 68/06 Z

C 0 7 C 68/08

C 0 7 C 69/96 Z

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 13 日 (2007.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

A) イッテルビウム化合物エステル交換触媒の存在下、大気圧～6 パールの圧力および温度 100～170 で、ジメチルカーボネートをポリオール成分と反応させる工程、および

B) 更にメタノール/ジメチルカーボネート混合物を同時に蒸留し、かつ反応混合物の温度が 195 を越えないように、更に 100 ミリパールの圧力に到達するまで減圧し、反応混合物中に不活性ガス流を通す工程

を含むオリゴカーボネートポリオールの製造方法であって、

工程 A) が、 $n - 2$ 連続副工程 A_i) を含み、 i は 1～ n の値であり、各副工程 A_i) において、反応器中を 3～6 パールの圧力¹ p_i とし、ジメチルカーボネートの合計量の部分 x_i を該反応混合物の液相に加え、温度 T_i で反応時間 t_i 後、一定温度 T_i で圧力¹ p_i から² p_i まで減圧される内に、該反応中に生成されたメタノールを気体状メタノール/ジメチルカーボネート混合物の形での蒸留によって該反応混合物から除去し、最終副工程 A_n) において、まだ合計量から欠けている部分 x_n を加えて、該副工程の最後の圧力² p_n を大気圧にすることを特徴とするオリゴカーボネートポリオールの製造方法。